

# 災害時、情報は どうあるべきか



講師  
ジャーナリスト  
(元NHK解説主幹)

吉村秀實 氏



## ～ 情報が人の生死を分ける時代に～

災害情報には災害発生直後の被災情報だけではなく、平常時から復旧・復興過程までさまざまな情報があり、活用の仕方次第で被害を最小限に抑える助けとなります。近年の相次ぐ大規模自然災害、JR事故、ビル火災、食品偽装などの事例をとおり、災害情報と危機管理のあり方を学びます。

シンポジスト 株式会社エフエムびざん

取締役 企画営業部長 川田春男氏  
社会福祉法人石井町社会福祉協議会

主任 芳川佳久氏  
四国大学文学部英語文化学科

講師 フェネリー マーク(Mark Graham Fennelly)氏

開催日	平成21年 <b>1月31日(土)</b> 13:00~
会場	県立総合福祉センター 5Fホール 駐車台数に限りがあります。 乗り合わせまたは公共機関をご利用ください。
時間	受付 12:30 ~ 13:00 講演 13:00 ~ 14:35 シンポジウム 14:45 ~ 16:15
定員	200人
参加費	無料



この講演会・シンポジウムは、県立総合大学校『まなびーあ徳島』危機管理学部の主催講座として実施します。

主催 : 社会福祉法人徳島県社会福祉協議会

共催 : 徳島県 / 日本赤十字社徳島県支部 / とくしま県民活動プラザ

## 講師 吉村 秀實 (よしむら ひでみ)さん プロフィール

東京生まれ

金嬉老事件、三島由紀夫事件、連合赤軍事件、JALジャンボ機墜落事故、潜水艦なだしお衝突事故などの事件、事故の取材をはじめ、熊本の大洋デパート火災、山形の酒田大火、東名日本坂トンネルの追突炎上事故、静岡駅前の地下街ガス爆発事故、ホテルニュージャパン火災、尼崎の長崎屋火災、三宅島、伊豆大島、伊東市、雲仙普賢岳の火山噴火災害、宮城県沖地震、長野県西部地震、北海道南西沖地震、阪神淡路大震災、サンフランシスコのロマプリータ地震、ロサンゼルススのノースリッジ地震、など数多くの災害現場の取材を担当。

1983年4月 「朝のニュースワイド」キャスター

84年4月 「ニュースセンター630、850」キャスター

88年7月 NHK解説委員

91年5月 同解説主幹

96年11月 「NHK週刊ハイビジョンニュース」編集長兼キャスター

2000年3月 定年退職、転籍

4月 「ラジオタ刊」編集長兼キャスター

2001年3月 NHK退職

現在、「原子力安全委員会・防災部会」委員、(財)「都市防災研究所」理事、(財)「市民防災研究所」理事、「災害救援ボランティア推進委員会」委員、「国際交通安全学会」顧問、株式会社「サザビーリーグ」取締役、「スターバックスコーヒージャパン」株式会社 常勤監査役として、企業のリスクマネジメントを担当。研究テーマ「災害時の人間行動と災害情報のあり方」

著書

「ニュースのこぼれ」「日本・死者急増～第2次交通戦争の構造」「原発ごみはどこへ」

参加ご希望の方は、はがき、電話、ファクシミリ、電子メールにより、1月26日(月)までにお申し込みください。定員に余裕のある場合は、当日参加も可能です。

申込み・お問合せ 徳島県立防災センター

〒771-0204 板野郡北島町鯛浜字大西165

TEL (088)683-2100 FAX (088)683-2002

E-mail bousaice@mail.pref.tokushima.lg.jp

### 参加申込書

FAX(088)683-2002

お名前(ふりがな)	お電話番号	お住まいの市町村
		所属団体

ご記入いただいた情報は徳島県個人情報保護条例に基づき、本会開催を目的とする事以外に使用しません。